

日本胎児心臓病学会スクリーニング委員会 秋田県アクション・プラン

秋田大学総合臨床教育研修センター
岡崎 三枝子

背景

秋田県における現在の胎児心疾患診療体制

秋田市内
二次病院小児科
小児循環器専門医 2名

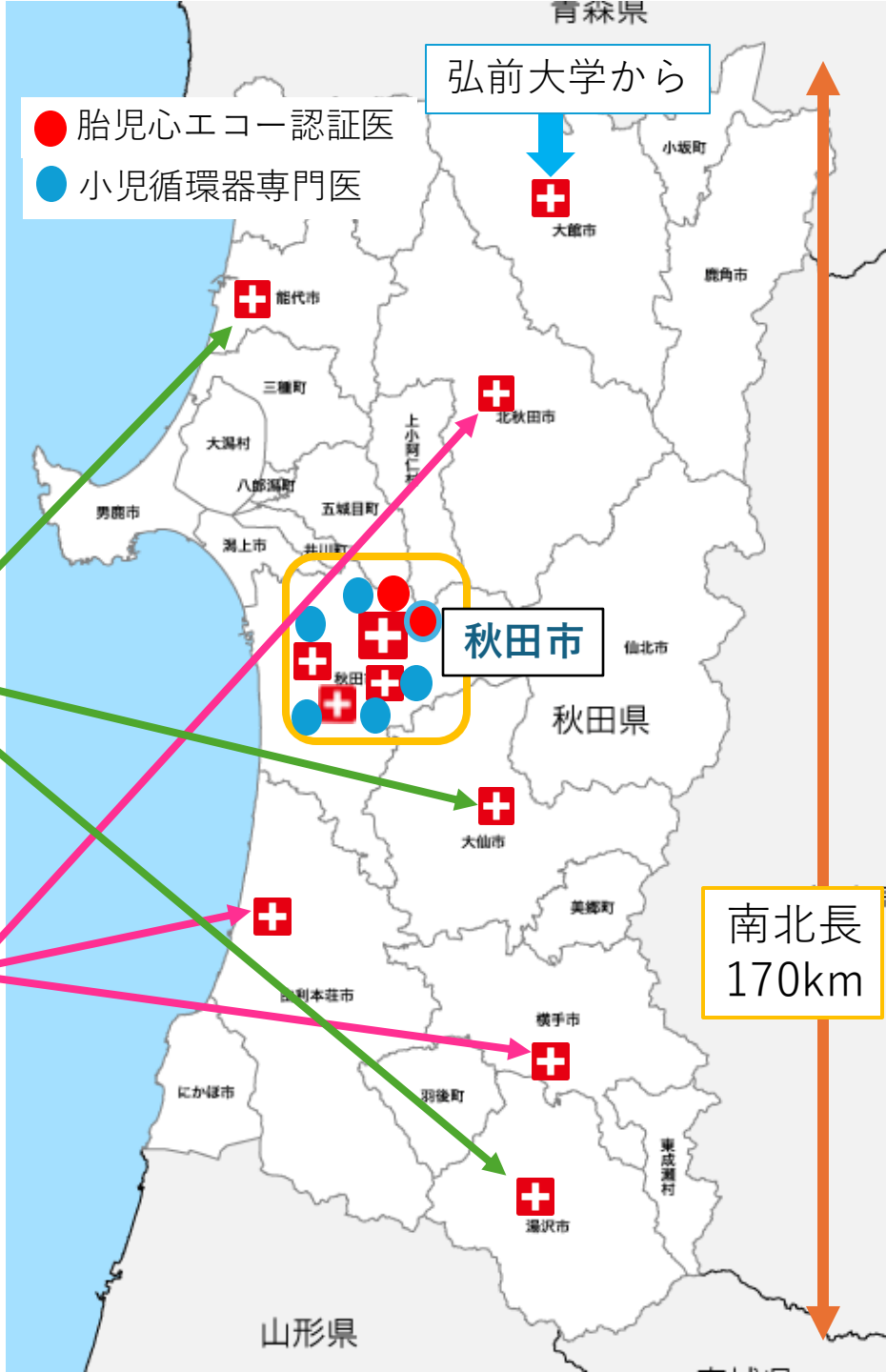
秋田市内
開業小児科
小児循環器専門医 2名

秋田大学医学部附属病院

小児科
小児循環器専門医 1名(小児科)
産婦人科
胎児心エコー認証医 1名(産科)

総合臨床教育研修センター
小児循環器専門医+胎児心エコー認証医
1名(小児科)

- 秋田市以外に小児循環器専門医は不在
- 各二次施設産婦人科：胎児心エコー検査スクリーニング
→それぞれの施設の小児心臓外来へ精査を依頼



これまでの活動

妊婦健康診査項目

指定検査に胎児心エコー検査項目を順次導入

2009年

4CVを妊娠28-31週の補助券に導入 ([全市町村](#))

2014年

3VVを妊娠28-31週の補助券に追加 ([秋田市以外](#))

2015年

3VVを妊娠28-31週の補助券に追加 ([秋田市](#))

2016年

心臓の位置、軸、4CVを妊娠20-23週補助券に導入

白③		妊娠20～23週（第6か月）適用					
妊婦一般健康診査受診票							
<table><tr><td>市町村名</td><td></td></tr><tr><td>妊婦氏名</td><td></td></tr></table>		市町村名		妊婦氏名		左記妊婦の一般健康診査及び指定検査を依頼します。	
市町村名							
妊婦氏名							
委託医療機関の長 様		秋田県△△市町村長 ○ ○ ○ ○ 印					
----- 切り取り -----							
市町村発行No.		世帯主名					
妊 婦 氏 名		職 業					
生 年 月 日		電 話					
年 月 日		()					
住 所							
健康診査の所見 又は 今後必要な処置	受診時の妊娠週数 () 週 出産予定日 (年 月 日)						
	尿検査	蛋白 -・+・++	糖 -・+・++				
	血圧	～	浮腫 -・+・++				
	指定検査						
	超音波断層法（経腹） BPD mm 羊水ポケット mm 心臓の位置 確認の有無（有・無） 心臓の軸 確認の有無（有・無） 心臓の4CV 確認の有無（有・無）						
(1) 異常なし (2) 要精密検査 (3) 要訪問指導 (4) 要治療 ※上記 (2) ～ (4) の場合、その内容 ()							
健診年月日 平成 年 月 日							
委託医療機関名							
医 師 氏 名 印							

秋田県の問題点 ① ~2023年人口動態統計~

- 婚姻率 : 2.5 24年連続**全国最下位**
- 年間出生数 : 3611人 **過去最少**を更新中
- 合計特殊出生率 : 1.10 **過去最低** (全国 : 1.20)



人口減少は深刻。

これを改善できる見込みは、現時点では不明。

胎児心エコー検査を充実させ、生後失われる可能性のある命を救命していく。

秋田県の問題点 ②

妊娠数の減少＝経験できる胎児心疾患の減少

- ・胎児心エコー認証医の育成・経験数増加が困難
- ・胎児心エコー認証医のレベルアップに課題

胎児診断のついた妊婦さんに、

複数回のレベルⅡ胎児心エコーをさせていただく…？

教育・認証医取得のための胎児心エコー検査は、

妊婦さんの同意があればいい？ボランティアを募る？

臨床として、研究として…？

実は今…

教育センター所属となり、

① 大学病院での小児循環器診療から離れている。

→県内の胎児診断は大学産科からの紹介がほとんど。

② 二次病院心臓外来を月 5 枠担当。胎児診断は数ヶ月に 1 例程度。

→大学小児循環器診療として胎児心臓外来を行うか

研究として胎児心エコーデータを積み上げていくか

アクションプラン

A. 秋田県周産期施設：胎児心エコー外来 2024年10月より開始

- ① 在胎20週前後の産科スクリーニング異常症例
- ② 小児循環器医・産婦人科医への胎児心エコー指導

今後の課題

B. 二次病院小児科にて胎児心エコー外来開設、または小児心臓外来紹介

- ① 在胎20週前後の全例妊婦さんへ胎児心エコー検査を順次導入
過去に経験あり、2回施行した症例は少数
- ② 在胎20週前後の産科スクリーニング異常・不明瞭症例のみを対象

C. 妊婦健診補助券の項目を「確認の有無」から「異常の有無」
に変更するよう働きかけていく